

八幡堀散策と八幡山登山 活動報告

実施日：2018年7月20日（金） 天候：晴れ

参加人数：53名

行程：近江八幡駅（10:00 発）→池田町洋風住宅街→八幡堀→日牟禮八幡宮（11:00）→ロープウェイ組と歩き組に分かれて八幡山山頂へ→西ノ丸跡で昼食・班長会議→瑞龍寺にて説明、見学（12:40～13:10）→全体写真後、分かれて下山→日牟禮八幡宮集合（13:50）→Aコース（ラコリーナ）とBコース（ハイド記念館）に分かれて出発（14:00）→見学後それぞれの場所にて解散（15:30 頃）

連日の猛暑の中、熱中症で倒れる人が出ないか、ハラハラしました。出来るだけゆっくり歩こう、場合によっては八幡山の登山は取りやめかなと覚悟していましたが、お陰様で行程を端折ることなく、無事終える事ができ、ホッとしています。

ヴォーリス建築の一つ、吉田悦蔵邸やウォーターハウス記念館を見て、新町通りへ。近江商人の町並みの向こうにはこれから登る八幡山が綺麗に眺められました。八幡堀まで来ると、ちょうど運よく花嫁さんが乗った船が着いたところ。末永くお幸せに、と祈りました。

千年以上の歴史がある、日牟禮八幡宮まで快調に歩きました。水分補給休憩の後、ロープウェイ組と歩き組に分かれたのですが、なんと半数近くの方が歩いて登りました。元気やなあと感じました。

琵琶湖、比良山の眺望が素晴らしい西ノ丸跡で昼食後、門跡寺院である瑞龍寺を見学。ハイド記念館では館長さんがヴォーリスについて熱く語って下さいました。全財産を社会教育や結核などの医療に捧げた事、メンソレータムの発明者ハイドの支援によってヴォーリスが活躍できた事。15年前まで幼稚園舎として使われていたハイド記念館では、ドアノブ、階段、保健室の窓に至るまで、ヴォーリスの優しい精神を感じられ、感動しました。Bコースではその後旧八幡郵便局を見学しました。（文責 松尾）



ウォーターハウス記念館



八幡堀をゆったり流れていく、屋形船



ヴォーリス夫婦について熱く語る館長



旧八幡郵便局

八幡山は豊臣秀次が居城を築いた要塞の地。その地に、非業の死を遂げた我が子の菩提を弔う為に建立された瑞龍寺。門跡寺院村雲御所「瑞龍寺」で説明を受け、遙か昔の歴史に思いを馳せながら、眼下に広がる雄大な景色に目を奪われました。ロープウェイで下山し、ラコリーナへ。足を踏み入ると、湖水地方のピーターラビットの世界。丘が広がり、緑の世界に希望を感じました。建物の中では、たねや名物の和・洋菓子の甘い香り、今日の暑さを忘れるに十分。お菓子に癒されました。5班 松本良子

八幡山から一望の近江平野の雄大な眺めが素晴らしくて、感動しました。ヴォーリス設計のハイド記念館は15年前までは幼稚園舎として使われていたそうです。創立者ゆかりの品や絵画、パネルが展示されており、木の香りが伝わってくるような校舎で、ヴォーリス建築って、なんか優しいなという印象を受けました。5班 植月邦子